

安全性データシート

改定日: 2023年6月2日

前作成日: 2016年10月21日

SDS番号: 116A-23

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

651 デタージェント・ループリケータイング・オイル (エアゾール)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 石油ベースの潤滑剤

使用上の制限: 情報なし

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

株式会社 明治屋

神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地

TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731

Eメール: contact-ches@meidi-ya.com

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

エアゾール、区分 3, H229

吸引性呼吸器有害性、区分 1, H304

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 危険

危険有害性情報: H229

H304

高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

使用上の注意：	P210	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
	P251	使用後の含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
	P301/310	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
	P331	無理に吐かせないこと。
	P410/412	日光から遮断し、50° C 以上の温度に暴露しないこと。
	P501	許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。

補足情報： なし

2.3. その他の危険性

なし

セクション 3： 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分 ¹	重量%	CAS番号	GHS分類
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸*	70-80	64742-52-5	吸引性呼吸器有害性 1, H304
二酸化炭素	1-5	124-38-9	圧縮ガス, H280
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	0.1-0.5	39464-69-2	皮膚刺激性 2, H315 眼に対する重篤な損傷性、H318 急性水生毒性 1, H400 水生慢性 3, H412
その他の成分:			
酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ	5-10	108419-35-8	分類されていません

*IP 346の測定によるとDMSO抽出物の含有量は3%以下。H(危険)ステートメントの全文：セクション2.2および16を参照。

¹分類基準：労働安全衛生法、毒物および劇物取締法、GHS

セクション 4： 応急処置

4.1. 応急処置情報

吸入：	新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。
皮膚への付着：	石鹼水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
目に入った場合：	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
呑み込んだ場合：	無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。
応急手当を行う人の保護：	個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。飲まさないでください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響(急性および遅延)

肺に吸込むと化学性肺炎や肺水腫を起こすことがあります。高濃縮蒸気は目や呼吸器系の炎症、頭痛やめまいを起こすことがあります。長い間あるいは繰り返し皮膚に付着すると、皮膚に刺激を与えたり、脱脂を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤： 二酸化炭素、乾燥薬品 あるいは 発泡

不適切消火剤： 大量の水噴射

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物： 一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

その他の危険性： 高压容器は加熱すると爆発する危険があります。

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置

6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

流出分は小さな場所に回収してください。吸収性の材料(砂、おがくず、クレー等)で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための注意

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

加圧容器： 直射日光を避け、50° C 以下で 保管してください。使用後も穴をあけたり焼却したりしないでください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
オイルミスト、鉍物物	N/A	3	N/A	5
二酸化炭素	5000	9000	5000	9000
			STEL:	
			30000	54000
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	N/A	N/A	N/A	N/A
酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ*	N/A	N/A	N/A	N/A

**Chestertonの推薦する限界、TWA(時間加重平均): 50 ppm, 10 mg/m³.

生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

8.2. 曝露制限**8.2.1. 設備対策**

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護： 通常不必要。許容限界を超える場合は、埃/有機蒸気フィルター付きの半面あるいは全面呼吸マスクを使用してください。

手袋： 必要なら耐薬品性手袋を使用してください(例：Viton*、ネオプレン、ニトリル)*DuPont 社の登録商標。

目 / 顔の保護： 安全ゴーグルあるいは眼鏡。

その他： なし

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9： 物理的及び化学的性質**9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	低粘性の液体	pH	適応せず
色	琥珀色	動粘	16.8 mm ² /s @ 40° C
臭気	軽い石油臭	水溶性	わずかな水溶性
においの閾値	未定	分配係数:n-オクタノール/水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	220° C	20・Cでの蒸気圧	未定
融点・凝固点	未定	相対密度	0.9 kg/l, 製品のみ
揮発率%(容量比)	9%, 製品のみ	蒸気密度(空気=1)	> 1
引火性	適応せず	蒸発率(エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/ 低	未定	重量比芳香物含有率 (%)	< 1%
爆発限界		爆発性	未定
引火点	144° C, 製品のみ	酸化性	未定
方法	PM閉カップ	粒子特性	適応せず
自己発火温度	未定		
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

なし

セクション 10： 安定性及び反応性**10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

通常の状態では安定。

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

炎や高熱表面。

10.5. 配合禁忌薬品

苛性アルカリ、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

セクション 11: 有害性情報**11.1. 毒性影響に関する情報****通常使用時の主な接触経路:** 吸引、皮膚や目への付着。**急性毒性 -****経口:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	致死量50(LD50)、ラット	> 5000 mg/kg, 推定
酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ	致死量50(LD50)、ラット	> 5000

経皮: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	致死量50(LD50)、ラット	> 2000 mg/kg, 推定
酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ	致死量50(LD50)、うさぎ	> 3160 mg/kg

吸入: 高濃縮蒸気は目や呼吸器系の炎症、頭痛やめまいを起こすことがあります。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	致死濃度50(LC50)、ラット、4時間	> 5 mg/l (ミスト) 推定

皮膚腐食性/刺激性: 長い間あるいは繰り返し皮膚に付着すると、皮膚に刺激を与えたり、脱脂を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	皮膚の炎症、うさぎ	< 0.5 / 8.0, 推定
酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ	皮膚の炎症、うさぎ	かすかな炎症

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 目に入るとかすかな刺激を与えることがあります。

物質	テスト	結果
蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸	目の炎症、うさぎ	< 15 / 110, 推定
酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ	目の炎症	かすかな炎症

呼吸器または皮膚の感作: 蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 皮膚の過敏症は類似した製品のデータから過敏症でないと考えられています。酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ: 志願者を使ったヒト連続パッチテストでは皮膚の刺激や皮膚の過敏症の形跡はありませんでした。**胚細胞突然変異原性:** 蒸留物(石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 本物質は改良エームズ試験の結果で変異原性指数が1.0以下なので、非変異原性であり腫瘍成長の可能性はないとされています。酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ: 類似物質のデータに基づき非変異原性とされています。

がん原性：	本製品は、国際がん研究機関 (IARC) あるいは欧州化学機関 (ECHA) の規定する発がん性物質を含有していません。
生殖毒性：	蒸留物 (石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ、母体最大無毒性量、ラット: 500 mg/kg/日; 発生最大無毒性量、ラット: 2500 mg/kg/日。
STOT - 単回暴露：	蒸留物 (石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
STOT - 反復暴露：	蒸留物 (石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ、NOAEL、90日間経口亜慢性調査、ラット: 500 mg/kg/日。
吸引性呼吸器有害性：	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
その他の情報：	なし

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

蒸留物 (石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 入手可能なデータによると本製品には激しい毒性はありません。ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート: 長期的影響により水生生物に有害。(藻、これは類似物質のデータに基づいています。)

12.2. 持続性・分解性

蒸留物 (石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 31% 生分解 (OECD 301F, 28日)。酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ: 地中、水中で、ゆっくり生分解すると考えられています。ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート: 易生分解性。

12.3. 生物蓄積の可能性

蒸留物 (石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 生体内蓄積しません。酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ: 生体内蓄積することがあります。ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート: データなし。

12.4. 土壌中の移動性

低粘性の液体。わずかに水に溶けます。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。蒸留物 (石油)、水素化処理された重ナフテン酸: 大量に放出すると、土壌に浸透し地下水を汚染する恐れがあります。酢酸、C11-14-イソアルキルエステル、C13リッチ 土や堆積物への吸収に高い親和力があるとされています。

12.6. その他の悪影響

なし

セクション 13: 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。高圧用器は認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14: 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN1950

14.2. UN固有輸送名

ICAO: Aerosols, Non-Flammable

IMDG: Aerosols

ADR/RID/ADN: Aerosols, *asphyxiant*

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 2.2

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.5. 環境への危険性

環境危険性なし

14.6. ユーザーへの特別な注意

使用に関する特別な注意はなし

14.7. Marpol 73/78附則IIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

IMDG: EmS. F-D, S-U, Shipped as Limited Quantity

ADR: 分類コード 5A, トンネル制限コード (E), Shipped as Limited Quantity

セクション 15: 適用法令**15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
その他の国内規制:	水質汚濁防止法 分類: 油 政令名称: 潤滑油	

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH: 米国産業衛生専門家会議
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE: 急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値
 GHS: 世界調和システム
 ICAO: 国際民間航空機関
 IMDG: 国際海上危険物規定
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL: 最小作用量
 NOEC: 最大無作用濃度
 NOEL: 最大無作用量
 N/A: 該当せず
 PEL: 許容暴露限度
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS: 安全性データシート
 STEL: 短時間暴露許容濃度
 STOT: 特定標的臓器毒性
 TLV: 暴露限界
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)
 化学分類および情報データベース (CCID)

GHSによる混合物の分類方法：

分類：	分類手順
圧縮ガス、H280 (GHS 3)	成分およびテストデータ ベース
エアゾール 3, H229 (GHS > 3)	成分ベース
吸引性呼吸器有害性、区分 1, H304	成分およびテストデータ ベース

関連するH(危険)-ステートメント： H280: 加圧ガス; 熱すると爆発のおそれ。
H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H315: 皮膚刺激。
H318: 重篤な眼の損傷。
H400: 水生生物に強い毒性。
H412: 長期的影響により水生生物に有害。

その他の情報： なし

本改訂によるSDSの変更： セクション 1.2, 1.3, 2.1, 2.2, 3.2, 4.1, 5.2, 8.1, 9.1, 11, 13, 15.1, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。